



山形県医療ソーシャルワーカー協会ニュース

Social Plus

YAMAGATA MEDECAL SOCIAL WORKERS



新・協会ニュース発刊に寄せて

山形県医療ソーシャルワーカー協会

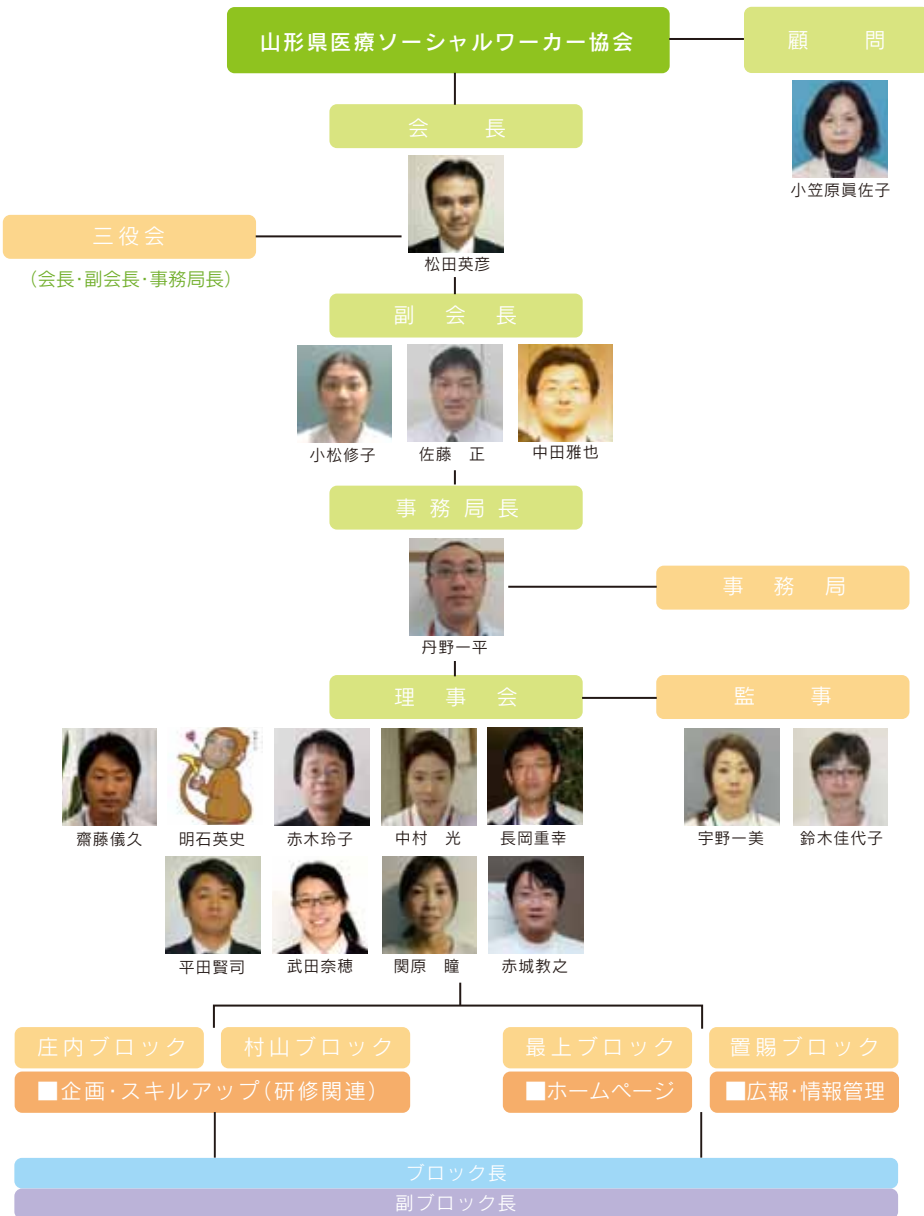
会長 松田英彦

本年度より、会長をはじめ副会長、理事等、新体制で臨むこととなりました。新しい県協会をどうぞよろしく願いたします。また、協会運営においては、三役会、理事会に加えて、ブロック毎に会議や活動を展開できるようにしました。取りまとめる各ブロック長は大変ですが、昨年の学会で培った「和」と、会員皆さんのお力を拝借できれば大丈夫だと確信しております。

昨今、認定社会福祉士や専門社会福祉士などという言葉が聞かれるようになってきました。いよいよ医療ソーシャルワーカーにとって変革の時代(とき)が到来し、更にまた、専門性とは何か、専門性をどう活かすかなど、私たちの真価も問われてきています。この状況を踏まえ県協会としましても、より研修会等に力を注いでいきますが、それ以上に会員の皆さん一人ひとりが、日々精進し、研鑽を重ね、資質の向上に邁進していただきたいと思ます。

最後に、県協会、そして会員皆さんのこれからの活躍にご期待申し上げるとともに、私たち医療ソーシャルワーカーの存在を確固たるものにすべく、皆で努力して頑張ってまいりましょう。

協会組織図



follower

新体制発足 理事・役員より一言!

松田英彦 会長(山形済生病院)
MSWにとって変革の時に到来し、私達の真価が問われてきています。協会並びに会員の皆さん一人ひとりが日々精進しMSWの存在を確固たるものにするべく、頑張っていきたいと思います。

会員No.007

小松修子 副会長(三友堂リハビリセンター)
この度、置賜地区のブロック長及び副会長として協会のお手伝いをするになりました。会員の皆さんと一緒に協会活動を盛り上げていこうと思っています。どうかよろしくお祈りします。

会員No.048

丹野一平 事務局長(篠田総合病院)
事務局長としてあたえられた役割を光栄に思い、県協会の飛躍、そして会員の皆様方が活動しやすい協会にしていくために頑張っていきたいと思っていますので、事務局共々これからよろしくお祈り致します。

会員No.013

赤木玲子 理事(県立中央病院)
新会長、新体制の下、新たな気持ちでがんばります。

会員No.005

明石英史 理事(寒河江市立病院)
ソーシャルワークがアートであり続ける限り、私たちはクリエイティブでいなければなりません。自由で、やわらかく、型にはまらない発想や思考、これらを持ち続けながら、専門職の団体としての責務を果たせるような協会になっていけたらと思います。

会員No.027

赤城教之 理事(みゆき会病院)
新理事としてがんばりますのでご指導お願いします。

会員No.035

平田賢司 理事(県立新庄病院)
2年目になります。今後ともよろしくお祈りします。

会員No.057

宇野一美 監事(山形済生病院)
よろしくお祈りいたします。

会員No.010

中田雅也 副会長(至誠堂総合病院)
しっかりと自分の役割を果たすことを第一に取り組み、「専門職は生涯勉強!」と教わりましたがMSWの研鑽と地位向上のために頑張りたいと思います。

会員No.017

佐藤正 副会長(鶴岡市立荘内病院)
“心に笑いを!体に癒しを!”をモットーに、相談に協会活動に精一杯頑張るぞー!オー!(自問自答)

会員No.066

長岡重幸 理事(みゆき会病院)
引き続き理事となります。よろしくお祈りします。

会員No.034

武田奈穂 理事(矢吹病院)
協会の運営に少しでも役立てるよう、がんばります。ご指導の程、宜しくお願いします。

会員No.023

中村光 理事(山形ロイヤル病院)
昨年5月、日本医療社会事業全国大会で接待部長を務めさせていただいた中村です。その1ヵ月後、妊娠が発覚し2月に出産しました!9月に職場復帰し、新たな気持ちで山形県ソーシャルワーカー協会を盛り上げていきたいと思っています。よろしくお祈りします。

会員No.030

関原 瞳 理事(米沢市立病院)
昨年度に引き続き、よろしくお祈りします。

会員No.042

齋藤儀久 理事(鶴岡県立リハビリテーション病院)
ソーシャルワーカー歴は6年とまだまだ未熟ですが、理事の仕事を通し自分自身大きく成長できればと思っておりますので皆さん宜しくお願い致します。

会員No.075

鈴木佳代子 監事(山形大学医学部附属病院)
頑張ります!ご指導よろしくお祈りします。

会員No.040

平成22年度 山形県医療社会事業従事者研修会

H.22.7.23



平成22年7月23日(金)、山形市保健センター(霞城セントラル3階)にて平成22年度山形県医療社会事業従事者研修会が開催されました。今年度は垂石啓芳氏(現圓應寺住職)より「いかに生きいかに死ぬか」をテーマに講演いただきました。前職であったソーシャルワーカー時代のエピソードを聞いてはうなづき、ご自身の見たもの、感じたものをご自身の言葉で語る姿にはこちらも背筋がすつと伸びる感じがしました。さて、皆さんはこの講演をお聞きになり、どのように生きていこうと考えられたでしょうか。

平成22年度 第1回 新人研修会

H.22.10.22

10月22日(金)に山形市内「遊学館」にて開催されました。県内各地より16名の参加がありました。(平均経験年数:約1年4カ月)

【地域包括支援センター業務の実際と病院との関わりについて】

【講師】地域包括支援センターかがやき
センター長 大江祥子氏

【ケアマネジャー業務の実際と病院との関わりについて】

【講師】至誠堂ケアプランセンターみらい
ケアマネジャー 加藤正樹氏

【高齢者支援のネットワークについて考えよう】

【講師】日本海総合病院 医療福祉相談員 今井敏彦氏



Voice ●● ～受講生アンケートより～

- 今まで関わったことのないケースや、社会資源の活用の方法が勉強になりました。自分が思いつくり方だけでなく、多様な視点から考えていくことが大切だと感じました。
- MSWの仕事の重要性を改めて感じ、責任を持って取り組んでいこうと思いました。

Voice ●● ～受講しての感想～

- 新人研修では大変貴重な講演をお聞きすることができ、また、経験年数の近い皆様の意見、考え方、悩みを聞くことで良い刺激を頂きました。医療療養型病院での相談業務を行う中でも、包括支援センター、各事業者の介護支援専門員の方との連携はとても重要であります。今回の研修では事業者の方が、どんな所が連携を取りづらいと感じているのか、どのように情報提供を行った方が良いのかなど、どう思っているのかという生の声を聞くことができ参考になりました。退院指導に関しても、橋渡しの役割となるMSWの先を読んだ見立てによる調整や連携の重要性を認識しました。今回の研修で学んだことを、日々の業務にすぐに生かしていきたいと思いました。(医療法人社団 緑愛会 川西湖山病院 相談員/川越幸子)



小笠原真佐子前会長 慰労送別会

H.22.7.23

平成22年7月23日(金)18時より、山形国際ホテルにて小笠原前会長の慰労送別会を開催しました。出席者一人一人から前会長へのメッセージを伺っていると、本当に素晴らしい方だったんだなあと思つた次第です。シークレットゲストもあり、にぎやか且つとてもあたたかな会でした。小笠原前会長、今まで本当にありがとうございました。そして、今後は顧問として、ご指導よろしくお願い申し上げます。

山形県医療ソーシャルワーカー協会 第41回 定期総会

H.22.7.23

平成22年7月23日(金)、山形市保健センター(霞城セントラル3階)にて平成21年度第41回定期総会が開催されました。用意された議案は、全て可決されました。<以下、議事録より抜粋>

■ 会場/山形市保健センター(霞城セントラル3階) ■ 日時/平成22年7月23日(金) 15:30~16:30
■ 会員数/正会員65名 ■ 総会出席者数/65名(内訳:出席31名・委任状34名)

■ 議案

- 1:平成21年度 事業報告
- 2:平成21年度 会計決算及び会計監査報告
- 3:人事・役員改選について
- 4:県協会規約の一部改正及び会計規定について
- 5:平成22年度 事業計画(案)
- 6:平成22年度 会計予算(案)

■ 総会議事

議長に加藤正樹氏(至誠堂ケアプランセンター)、書記に上野美帆氏(矢吹病院)、佐藤奈美氏(山形済生病院)が推薦され、承認される。次に資格審査報告。正会員65名中、出席者31名・委任状34名(計65名)で、本協会規約第13条により、会員の過半数を超えるため、本総会の成立要件を満たしていることが報告された。

1:平成21年度 事業報告(松田副会長より)

日時訂正箇所と研修担当理事会議の内容追加あり。
事業報告内容は、議案書参照。

2:平成21年度 会計決算及び会計監査報告

収支決算報告(長岡事務局長より)雑収入の摘要の寄付金は、小笠原会長からの寄付金、との報告。
収支決算報告内容は、議案書参照。
会計監査報告(武田監事より)会計監査報告内容は、議案書参照。

3:人事・役員改選について

昨年度は、全国大会・学会があり、改選が本年度となる。三役で選出し、承認を得た。
今年度より、顧問を設け、小笠原眞佐子氏が就任。
人事・役員の新体制については、議案書参照。
質疑→Q/本協会規定では、副会長は2名のはずであったが、3名選出はどういうことか。
A/本協会の規約改正をこのあとにお願いしたい。

4:県協会規約の一部改正及び会計規定について(長岡事務局長より)

山形県医療ソーシャルワーカー協会規約第7条、第17条の変更について、承認を得た。
第7条/役員の数及び任期・・・副会長3名
第17条/会計・・・会計規定を作成。一般会計だけでなく、特別会計も計上へ。

5:平成22年度 事業計画(案) (丹野事務局長)

平成21年度の反省を踏まえ、新たな向上と前進を目指し、自己研鑽・自己開発を積み重ね、会員相互の資質の向上を図るため、6つの事業計画を提案し、承認を得た。
(訂正)3.当協会活動をPRを重点的に行う→3.当協会のPRを重点的に行う
事業計画及び年間計画予定表は、議案書参照。

6:平成22年度 会計予算(案) (長岡理事より)

県協会規約の一部改正及び会計規定の改正に伴い、一般会計予算案、手引き発行特別予算案、50周年記念事業特別会計予算案、基金特別会計予算案の各会計の予算を提案し、承認を得た。

そうだん室からこんにちは

舟山病院 医療福祉相談室です♡



当院は、一般病床(134床)療養病床(60床)で、MSWは2人在籍しています。一部地域連携室業務も担っているため業務内容が幅広く、悪戦苦闘しています。経験年数ばかりが増えていき、全く成長している姿が見えない渡部(黒毛和牛の畜産農家)【右】とワーカー1年目で、今が伸び盛りの星野(旦那が焼肉屋店主)【左】の和牛繋がりの二人が、日々奮闘しています。時には「やさくれる日」もありますが、いろんな人や物からパワーをもらい、癒され、なんとか乗り越えています。今後も更なるパワーアップ(?)を目指し、精進して参ります。

次回回は、鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院です。

【研修会開催】のお知らせ



【山形県医療ソーシャルワーカー協会研修: 専門研修会】

今年度は、(社)日本医療社会事業協会の交通事故被害者生活支援教育研修事業を利用した研修会と一緒に開催する予定です。充実した内容の研修会となっておりますので、多数のご参加をお待ちしています。尚、申し込みに関しては別途案内文書を郵送いたします。そちらにてお申し込みください。

■開催日:平成23年2月4日(金) ■会場:山形市総合福祉センター

■プログラム

『高次脳センター及び事例紹介及びグループディスカッション(仮)』 講師:国立病院機構山形病院 小笠原眞佐子氏

『自動車事故 介護料について(仮)』 講師:NASVA担当者

『東北療護センターの機能と援助過程』 講師:東北療護センター MSW 尾形氏・森氏

『ソーシャルワーク研究について』 講師:東北公益大学 鎌田剛氏

【日本医療社会事業協会研修】

※詳細は協会ホームページ(<http://www.jaswhs.or.jp/index.php>)を参照ください。

【年会費納入】のお願い

会員の皆様にはご承知のことと存じますが、年会費の納入期限は毎年9月末となっております。

未納の方は、至急納入くださいますようお願い申し上げます。

※納入方法についてのお問い合わせは協会事務局まで。

編集後記

山形も冬景色、年の瀬になりました。

今期からは、歴史ある「協会だより」を置賜ブロックで担当することになりました。

今回原稿依頼をさせていただいた理事役員、その他会員の皆様には、温かく引き受けていただき、県協会会員の繋がりに、とてもありがたいことだとしみじみ感じたところです。

置賜ブロック長によると、今期は今回含めて3回発行を予定しているとのことですので、恐ろしい?原稿依頼が置賜ブロックからまた急に発信されるかもしれません。今後とも会員皆様の温かいご支援、何卒よろしく願います。また、協会ニュースに情報発信されたい会員の方、必要性のある会員の方は是非、置賜ブロックまでご一報ください。

連絡先 置賜ブロック長:小松修子まで TEL:0238-21-8110 FAX:0238-21-8119

Mail → msw-138@rehab.sanyudo.or.jp



発刊/お問い合わせ

山形県医療ソーシャルワーカー協会

事務局

篠田総合病院 医療福祉連携室内

〒990-0045 山形県山形市桜町2-68

TEL:023-623-1711 FAX:023-615-6256

編集責任者:小松修子・関原 瞳

編集担当者:青木砂織・川越幸子・我妻尚子

デザイン:キューズA/松田敏明

発行責任者

山形県医療ソーシャルワーカー協会会長 松田英彦